



子どもの未来が育つまち

第9回

一人で悩まないで。あなたを支える場所がここにあります

「市子ども相談センター」が4月、市役所西館1階にオープンしました。大人も子どもも気軽に相談しやすいアットホームな同センター。その活動を、事例などを通して紹介します。

■問い合わせ先
子ども相談センター ☎(36) 13002

子どもと家庭の悩みを支える2つの機関

同センターでは、おおむね18歳までの子どもと家族が抱えるさまざまな悩みを受け止め、一緒に解決の道を探していく手伝いをします。

また、「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」などの大切な権利を侵害されている子どもたちの救済を目的

子育ての悩みを支援 「家庭児童相談室」

同相談室で主に取り組んでいるのは、子育てについての悩みや困難を抱えている家庭への支援です。

■事例
Aさんは、妻と身体障がいのある特別支援小学校6年生のBちゃん、小学3年生のCくんの4人



大人も子どもも気軽に相談できる相談室 秘密は守られます

同センターは「家庭児童相談室」と「子どもの権利救済機関」の2つの組織が互いに連携しながら活動しています。

同センターは、18歳までの子ども専用フリーダイヤルを

他にも、育児ストレスを抱えた保護者が、児童家庭相談員と話をすることで、少し肩の荷を下ろすことができたり、子どもに適切な態度で関わる

■事例
Aさんは「仕事は休めないが、妻が入院中、2人の子とも自宅生活



市内の児童・生徒に配布したリーフレット

きます。今年の4～5月、市内の小・中学校、高校に通う全ての児童・生徒にリーフレットとカードを配布しました。

これまでに寄せられた相談は、いじめや不登校など学校生活の悩み、親との関係など家族に関する悩み、虐待などです。

事例

中学1年生のDさんは、仲良しのEさんとバトン部に入部。しかし、みんなより少し上達の遅いDさんは、「Dがヘタやけん、1年

■事例
Aさんは「仕事は休めないが、妻が入院中、2人の子とも自宅生活

同機関は、18歳までの子ども専用フリーダイヤルを

があつたらいつでも電話しておいで。もしも会って話したいときは、いつでもそっちに行くからね。一人で頑張らなくていいんだよ」と相談員が言うと、Dさんは「うん」と安心してすうすうなずき、電話を切りました。

同機関では、子どもの話にじっくりと耳を傾け、子どもの気持ちに寄り添いながら、「生きる力」が回復するまで見守ります。

事例

子ども1年生のDさんは、仲良しのEさんとバトン部に入部。しかし、みんなより少し上達の遅いDさんは、「Dがヘタやけん、1年

■事例
Aさんは「仕事は休めないが、妻が入院中、2人の子とも自宅生活

同機関は、18歳までの子ども専用フリーダイヤルを

舞台裏

■先日、農業を営む親戚からスイカをもらった。夏の果物としておなじみのスイカですが、その魅力はおいしさだけではなく、95%以上が水分で、この内4～6%が糖分といわれ、熱中症予防にも最適。おいしいスイカを食べて、今年の夏の暑さを乗り越えよう。

事例

■8月15日は終戦記念日。戦争が終わり68年が経った。小学校の平和授業で、戦争について学び、経験者の話を聞いて、戦争と平和について考えた。■終戦記念日は、戦争について学んだことを思い出し、平和を願う大切な日となっている。

同機関は、18歳までの子ども専用フリーダイヤルを

【相談先】

①家庭児童相談室 ☎(36) 1302

②子どもの権利救済機関
▽18歳までの子ども専用
☎0120(968)487
☎(36)9094

* 休日、夜間は留守番電話で対応 (①②共通事項)

●FAX (37)3046

* 開所時間は8:30~17:00 (土・日曜日、祝日、年末年始を除く)